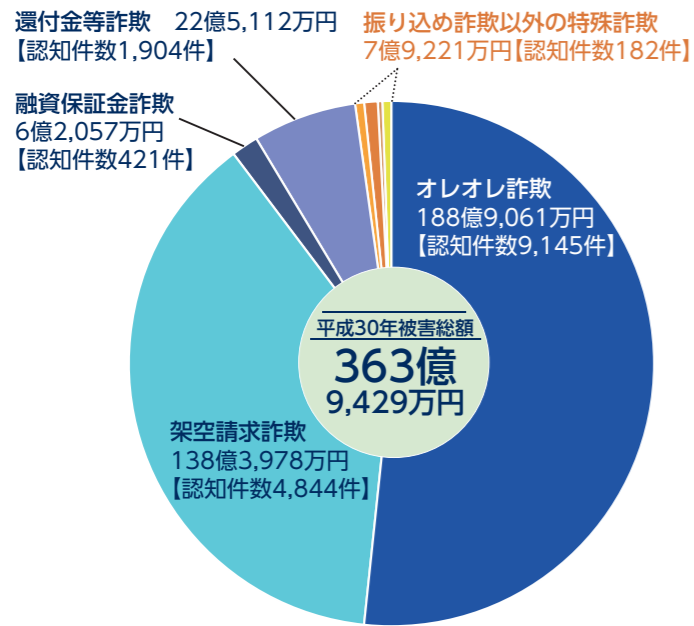


全国の特殊詐欺の被害額・件数

(出典：平成30年 警察庁)



振り込め詐欺以外の特殊詐欺被害額内訳

- ①金融商品等取引名目詐欺 2億6,515万円
- ②ギャンブル必勝情報提供 2億3,982万円
- ③異性とのおっせん名目詐欺 1億2,133万円
- ④その他の特殊詐欺 1億6,591万円

※平成30年時点で「振り込め詐欺」には、オレオレ詐欺、架空請求詐欺、融資保証金詐欺、還付金等詐欺が含まれます。

オレオレ詐欺の受け子など：誰も一度は耳にしたことがある特殊詐欺に関する報道。
平成30年の全国の特種詐欺被害状況は、被害総額が約364億円。前年と比較し、認知件数は減少したものの、被害総額は70億円近く増加しました。内訳をみると最も被害額が多いのがオレオレ詐欺、次いで架空

請求詐欺の順で、被害総額の約9割を占めています。分類で見ると、「振り込め詐欺」が約356億円なのに対し、「振り込め詐欺以外の特殊詐欺」が約8億円であり、圧倒的に振り込め詐欺の被害が多いことが分かります。また、令和元年は11月末時点で被害総額が約274億円と減少傾向ですが、依然として深刻な状況が続いています。

本市の被害状況を見てみると、認知件数、被害総額ともに増加傾向にあり、令和元年は12月末時点で認知件数が過去最高の10件、約3300万円の被害が報告されています。認知件数は警察に被害届が出された件数であり、被害届が出されないケースもあることから、実際にはさらに多くの被害が隠れていると考えられます。

一方で、警察も本格的な対策に乗り出しており、平成30年には全国で2837人を検挙し、過去最高となりました。また、警察と金融機関が連携して高額払い戻しを希望する人への声掛けを実施。この取り組みにより平成30年には1万4153件、143億円の被害を未然に阻止しました。

また、被害年齢・性別の割合を見ると、7割以上が女性で、その中でも70歳以上が全体の半数以上を占めています。このことから、高齢女性を狙い、金銭を要求する傾向が強いことが分かります。

日々手口が変化し、警察と犯人のいたちごっこが続く特殊詐欺。いっせいに被害に遭うか分からないため、日ごろから関心を高め、だまされないよう備えておくことが大切です。

特集

やらなくちゃ! 防サギ

詐欺の電話が来るのは今日かもしれない。

ニュースでも連日のように報道され、社会問題となっている「詐欺被害」。今回は、「特殊詐欺*」にスポットを当て、これ以上被害者を増やさないために、どんな対策をしたらいいのか詳しく紹介していきます。

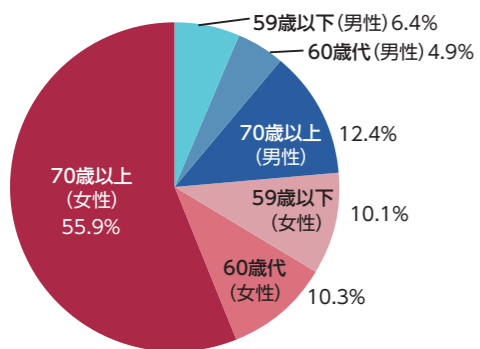


※特殊詐欺

面識のない不特定の人に対して、実際に会うことなく電話やFAX、メールなどで現金をだまし取る詐欺のこと。

全国の特種詐欺の被害年齢・性別

(出典：平成30年 警察庁)



全国と那須塩原市の特殊詐欺の認知件数と被害額

(出典：警察庁・栃木県警)

	平成29年		平成30年		令和元(2019)年	
	全国	本市	全国	本市	全国	本市
認知件数	18,212件	6件	16,496件	6件	15,392件	10件
被害総額	294億7,487万円	400万円	363億9,429万円	4,229万円	273億8,381万円	3,300万円

※令和元年は全国が11月末現在、本市が12月末現在。